

## 第83回一般質問一覧表

3.9.16

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
1	東野敏弘	市内全域・全家庭でネット環境の整備を！	(1) 市内の小中学校のオンライン学習のネット環境の整備状況を問う。 (要旨) 昨年、市内の全小中学生にタブレットを貸し付け、オンライン学習が始まったが、市内の小中学校のオンライン学習のネット環境の整備状況を問う。	部長
			(2) 市内の家庭・地域で、ネット環境が悪く、ネットが利用しにくい地域・家庭への対応を問う。 (要旨) 市内で、ネット環境が整備されていない地域・家庭があると聞くが、現状を把握しているか？その対応は？	
			(3) 市内全域・全家庭でネット環境が整備されるために、市長の考えを問う。 (要旨) 一人の市民・世帯の取り残すことなく、市内全域・全家庭でネット環境が整備されるために、市長のリーダーシップを求める。	
		コロナ禍における自殺予防・自殺対策について	(1) 西脇市における自殺者数の推移・要因について (要旨) 西脇市において、過去10年間の自殺者数の推移と自殺の要因を聞く。	部長
		(2) 自殺の要因と防止策について聞く。 (要旨) 自殺の要因と市が取り組んできた自殺防止策について聞く。		
		(3) 西脇市に引きこもり対策の窓口設置について (要旨) 9月に設置された「引きこもり相談窓口」について、自殺予防対策にも大きな期待が寄せられている。その取り組みを問う。		
		(4) 今後の引きこもり対策、自殺予防・自殺対策を問う (要旨) 長引くコロナ禍にあって、引きこもり対策、自殺予防・自殺対策が、市政において、重要な課題になってきている市長の姿勢を聞く。	市長	

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
2	坂部武美	災害時における要援護者等への対応について	1 災害時の避難、誘導方法について	市長 部長
			2 自主防災会、民生委員児童委員の役割について	
			3 避難所・福祉避難所の立地と数について	
			4 避難行動要支援者名簿条例の制定について	
			5 地域コミュニティとしての要援護者等への支援について	
3	中川正則	「播州織ファン」づくりの拡大	(1) 播州織の魅力発信 (要旨) コロナ禍において、より厳しい状況の中、播州織の名前、素材や製品の魅力を知ってもらう必要がある	市長
			(2) 業界・関係団体との連携 (要旨) 業界団体を含め、商工会議所、行政や議会など関係機関が連携してアピールしていくことが大切である。	
			(3) 「播州織ソムリエ資格認定制度」(仮称)の創設 (要旨) 認定制度により、播州織の歴史・生産技術・製品への豊富な知識を持つ、消費者に播州織の魅力や価値を正しく伝える伝道師的な人材の育成を通して、全国に播州織をPRすることに繋がる。	
			(4) 「播州織ファン」づくりの拡大 (要旨) 播州織の振興のために「播州織ファン」づくりの拡大への取組が必要である。	
4	林晴信	ふるさと寄附金DEまちづくり	(1) ふるさと寄附金の活用先について (要旨) 今までの議論や議会の意見を踏まえ質問する	部長
			(2) 福井県坂井市「寄附市民参画制度」について (要旨) 制度概要を説明しつつ、その取組みについて所感を問う。	市長 部長
			(3) ふるさと寄附金DEまちづくり(仮称) (要旨) 西脇市のふるさと寄附金に新たな展開を方向づける波及効果バツグンの新制度について説明し、提案を行う。	市長

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
5	美土路祐子	西脇市はワクチンの正しい情報発信を！	(1) ワクチンの長期的な安全性、有効性について (要旨) ①市の認識を問う。公的に認められた資料(厚生労働省のHPにも掲載のある、コミナティ添付文書、ファイザー説明書、特例承認における審査結果報告書)等から、統一見解を得ているのか。②特に子供については慎重になるべきで、そのことに対する情報発信が必要ではないか。	市長
			(2) ワクチンは感染を予防するのか (要旨) 市の認識を問う。①接種券に同封されているものは何か。その中でワクチン自体の説明やメリット・デメリットを書いたものは入っているか。②市は、何度もワクチンは感染を予防すると言い切っているが、本当か。公的な裏付けのある資料を示して欲しい。またエビデンスはあるのか。③ファイザーの説明書の内容と齟齬があり、問題ではないか。④間違いは訂正すべきではないか。	市長
			(3) 防災行政無線による市長メッセージについて (要旨) ①誰が作った文章か。医学的な監修は行っているのか。②医師会の先生のメッセージについてはどうか。③「副反応や接種後の死亡例等の誤った情報にまどわされず」とは何を指すのか。④ワクチンについて、全庁的(特に健康課やワクチン接種室との)な正しい知識の共有がなされているのか。	市長
			(4) 同調圧力を無くすためにも、西脇市の中立公正な正しい情報発信を。 (要旨) ①西脇市として、中立公正で正しい情報発信を今一度考え、発信して欲しいと思うが。②市内には同調圧力がまん延していて問題だ。西脇市で同調圧力禁止ポスターを作成し、市内公共施設、市内希望事業所や、各戸に配布し、同調圧力を発生させない環境を作るべきである	市長

	西脇市の副反応の状況を問う	(1) 西脇病院の状況について (要旨) ① 医療従事者のワクチン接種率 ② コロナ感染状況 ③ ワクチン副反応の状況 (厚労省に報告が上がっているものも) ④ 病床の状況など起こっている問題はないのか。	部長	
		(2) 西脇市内の状況について (要旨) ① 市民のワクチン接種率 ② コロナ感染状況 ③ ワクチン副反応の状況 (厚労省に報告が上がっているものも) ④ 市民から副反応に苦しむ相談はないか。	部長	
		(3) 市として副反応対策に取り組むべきではないか (要旨) ① 市長の認識と見解を聞く ② 松葉バンクの提案	市長	
	子宮頸がんワクチンの勧奨再開の懸念について	(1) 西脇市の子宮頸がんワクチンの接種状況について (要旨) ① 接種状況の推移を聞く。② H25年6月から積極的勧奨を控えている今、子宮頸がんワクチンについて西脇市はどのような体制で業務を進めているのか。	部長	
		(2) 子宮頸がんワクチンの副反応被害者について (要旨) ① 全国の子宮頸がんワクチン被害者の状況について聞く	部長	
		(3) 被害者を出した西脇市が今後取るべき対応とは (要旨) 令和4年4月から子宮頸がんワクチンの積極的勧奨が再開される話が出ていることを懸念する。市内で二度と被害者を出さないためにも、行政から市民への案内は今までと同じではないかと思う。 単に国から与えられた添付資料だけを送付するのではなく、被害者が出た西脇市として、市独自の案内も必要である。西脇市の未来を担う若い女性の健康はとても大切である。子宮頸がんワクチンの積極的勧奨再開についての市長の見解と意見を聞く。	市長	
6	村井正信	会計年度職員制度の改	(1) 会計年度職員の勤務の現状について聞く。	部長

	善	<p>(2) 会計年度職員の一時金手当の改善を  (要旨) 正規職員は期末手当と勤勉手当がある。勤務時間がほとんど同じにもかかわらず、会計年度職員には期末手当しかない。正規職員と同じように勤勉手当の支給をすることが必要と考えるが、市の考えを聞く。</p>	市長
		<p>(3) 1年間の昇給号数を正規職員と同一にすることを求める  (要旨) 正規職員は1年間に4号上がるが、会計年度職員は年間2号である。同じ職場に働く正規職員と同じようにすべきと考えるが、市の考えを聞く。</p>	市長
		<p>(4) パートタイム職員のフルタイム化  (要旨) 市の職場には、会計年度職員でもフルタイムとパートタイムがいる。その分かれ目は勤務時間が1日45分短いということである。パートタイム職員をフルタイム職員として活躍してもらいたいと考えるが市の考えは？</p>	市長
		<p>(5) 会計年度職員の継続雇用の必要性について  (要旨) 継続的な雇用で経験が積み上がり市民サービスも向上すると考えるのが自然である。市民サービスが向上するような制度設計にするためには会計年度職員の継続雇用が必要である。市の考えを聞く。</p>	市長